



# 令和6年度 第1回横浜市病院医療安全管理者会議 看護部会

令和6年度 看護部会幹事  
済生会横浜市南部病院 関根美保  
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 吉田洋子（報告者）

日時	令和6年 10月11日（金） 14時～16時
場所	横浜市庁舎内 21階 N-03会議室
出席者	9施設 医療安全管理者10名
議事内容	1.横浜市医療局医療安全課よりお知らせ 2.看護部会 自己紹介 3.情報交換・情報共有

# 情報交換・情報共有内容

## ・酸素ポンベの取扱い

患者搬送中に酸素ポンベの容量が無くなった事例が複数例続いた。ポンベ管理についての各施設の方法について

→多くの施設では酸素早見表を酸素ポンベにつけている。使用を促すための定期的な関りが必要である。

## ・事件事例の発生時の医療安全部門の介入について

→医療安全部門は中立に起きた事象を検証し報告書を作成する。事故発生から家族説明するまでどのような職種が関り、何をすれば良いか明確に理解できるようなフローを作成した。

## ・身体拘束カンファレンスについて

→多職種でのカンファレンスが望ましいが、医師の参加が困難な場合はカンファレンス内容を共有してチェックしてもらっている。

→医療安全ラウンド（多職種）のチェック項目に身体拘束の内容を追加し状況確認している。

→病院全体の整備が必要

## ・転倒防止器具について

→転倒防止帽子：転倒を繰り返す患者で使用を了承してくれる患者に使用。医療安全から事例によって使用を提案している。

→ころやわマット（骨折防止）：衝撃少なく、マット上の歩行でも不安定さはない。トイレ内に使用できる仕様を業者へ確認中。

→眠りスキャン：患者の睡眠パターンや患者がベッドから離れた時間がわかる。

→見守りカメラ：対象者のみ撮影するように設置している。患者の体動とナースコールが連動し録画する。

→離床センサー：ベッドフレームに設置するため身体拘束に含まれない。

※その他、在宅酸素と病院配管の接続操作は患者or看護師？（いずれもあり）

電気毛布の用途外使用があるか？（ベッドの保温のみに使用） 等

# 2月7日（金） 14時～16時30分 令和6年度 第2回 横浜市医療安全管理者会議

- 9施設 医療安全管理者9名出席

前回会議の議事録確認を行い、追加の情報共有を行った。

## <今回の情報交換・共有内容>

- ・ 院内の電気・電子機器類の点検等について（プリンターのコンセント部分からの発火事例）
- ・ インシュリン製剤 「アウィクリ」（1回/週使用）新規採用における安全な管理方法についての共有

## <次年度開催について>

- ・ 次年度幹事病院：独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院、昭和大学横浜市北部病院
- ・ 2回/年の開催 ・ 開催場所については検討する（他施設見学を行いながら会議開催を検討）